

Topics トピックス

歴史博物館注目のニュースをご紹介します!

2019  
1/4金 平成最後のお正月、  
**博物館が  
スタジオに!?**

今年最初の開館日、当館の「ほっとサロン」をスタジオに、展示室から生中継で石川の歴史を振り返る番組が放映されました。その時の様子を写真でご紹介します。

▶スタジオになった「ほっとサロン」



▼中継車、スタンバイ中



◀アナウンサーとの打ち合わせ



▶撮影の様子「加賀・能登の祭り」コーナー



次回展覧会のお知らせ

Upcoming Exhibition

夏季特別展 2019 7/20(土)~8/25(日)

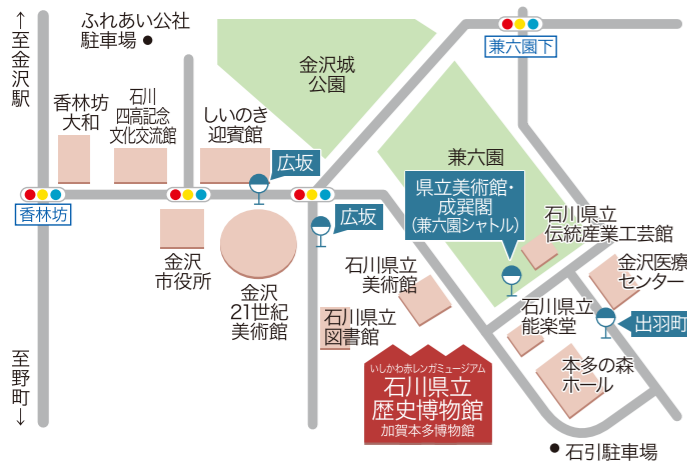
画業50年“突破”記念 永井GO展

マンガ界の鬼才・永井豪。社会現象を巻き起こした「ハレンチ学園」、マンガ界の歴史に燦然と名を残す「デビルマン」、巨大ロボットマンガの金字塔「マジンガーZ」など、さまざまなジャンルの作品を世に送り出しました。これまでに発表した作品数は350を超え、その無限ともいえる創造力は、現在も留まることを知りません。

画業50年突破を記念して本展覧会では、デビュー作から最新作まで、貴重な直筆マンガ原稿、カラーイラストなど約600点をジャンル別に紹介します。このほか「マジンガーZ」や「デビルマン」の世界観をイメージしたエリアや普段は表に出ることのない秘蔵資料なども会場内で見ることができます。永井豪が創り出したイメージの世界を存分に楽しみください。



©1967-2019 Dyn



いしかわ赤レンガミュージアム  
**石川県立歴史博物館**  
ISHIKAWA PREFECTURAL MUSEUM OF HISTORY

〒920-0963 石川県金沢市出羽町3-1  
TEL:076-262-3236 FAX:076-262-1836  
E-mail:rekihaku@pref.ishikawa.lg.jp  
http://ishikawa-rekihaku.jp/



広告

リフォームを検討されている方は是非!

どこに頼めば良いのか、既にもらっている見積書が妥当なのか分からない。

そんなときは「リショップナビ」

当社が自信を持ってオススメする  
リフォーム会社を複数社ご紹介致します。

リショップナビの特徴

- ①効率的に優良リフォーム会社を探せる。  
お客様のご要望にあわせ、リショップナビが最適なリフォーム会社を選定します。  
最大5社ご紹介。しつこい営業電話もありません。
- ②比較することで工事費用がオトクに!  
価格が不透明なリフォーム業界。同じ工事内容なのに金額差が開いたというお声も!  
営業担当者さんの人柄や経験値も比較しましょう。満足するリフォームは担当者次第です。
- ③もしもの時の、独自のリフォーム保証を完備。  
リショップナビでは、工ミスが発生した場合の再工事費用をカバーする「安心リフォーム保証制度」に加入したリフォーム会社をご紹介します。

おかげさまで  
累計ご利用者数  
**400万人突破!!**  
※2013年6月～2018年3月現在

まずはお電話で無料相談。専任のアドバイザーがお答えします!

**0037-6001-68399**  
【受付時間】 朝10時～夜21時(土日祝は19時)

運営会社:株式会社アイランドシー・クルーズ  
東京都港区新橋1-18-16 日本生命新橋ビル5F

リショップナビ

石川 ISHIKAWA PREFECTURAL MUSEUM OF HISTORY

れきはく

No.129  
2019.4.18

2019年  
4/27(土) → 6/2(日)

いしかわの神々

— 信仰と美の世界 —

木造 久麻加夫阿良加志比古神坐像  
久麻加夫阿良加志比古神社蔵

2019年度  
春季特別展

# いしかわの神々

2019年度 春季特別展

— 信仰と美の世界 —

2019年  
4/27(土) → 6/2(日)

9:00~17:00 [ 展示室への入室は16:30まで ]

石川県立歴史博物館 特別展示室・企画展示室

観覧料 / 一般800(640)円、大学生640(510)円、高校生以下無料

※( )内は20名以上の団体料金、65歳以上は団体料金

特別展・常設展セット券 一般880円、大学生700円

主催 / 石川県立歴史博物館 特別協力 / 北國新聞社

会期中  
無休

里山・里海そして奥山の恵みにあずかる私たちのふるさとでは、古来より、さまざまな神々と寄り添う暮らしがあり、その悠久の歴史を物語る文化財が数多く残され、今もひっそりと息づいています。

しかし、神に関わるという性格から指定文化財であっても公開されることは極めて稀で、その重要さがあまり知られていないのが現状です。そこで本展では、これまで人目に触れることのなかった神像彫刻や本地仏など、神々にまつわる選りすぐりの秘宝を紹介し、その信仰の歴史と美の世界をたどってみることにしました。

本展をご覧になられた方には、「いしかわの神々」と銘打ちながら、意外と仏像が多いといぶかる方がいるかもしれません。ご承知のように、明治元年(1868)の神仏分離令まで神仏習合の時代が長く続きました。この展示会は、神々の性格の変遷をたどりながら、そうした神と仏を等しく崇めてきた時代に思いをめぐらし、その心の豊かさや多様性にふれる機会にしたいと思っております。

最後に、本展の趣旨にご理解賜わり、貴重な文化財の出品をご快諾頂きました所蔵者・関係者のみなさまに心からお礼申し上げます。

## 関連行事

### 記念講演会

テーマ 能登の神像彫刻とその周辺

講師 文化庁主任文化財調査官 奥 健夫氏

日時 2019年5月11日(土)13:30~15:00

会場 ワークショップルーム

聴講無料

申込不要

### 展示解説

講師 当館学芸員

日時 2019年5月6日(月・振)13:30~14:30

会場 特別展会場

要観覧料

申込不要

### 石川の歴史遺産セミナー

テーマ 気多神の原像を探る

講師 國學院大學神道文化学部教授 笹生 衛氏  
石川考古学研究会会長 小嶋 芳孝氏  
羽咋市教育員会学芸員 中野 知幸氏

日時 2019年5月25日(土)13:00~17:00

会場 ワークショップルーム

聴講無料

要申込

電話またはメールにて受付  
先着80名

## 第1章

### 古代の神まつり

展示は、神まつりが飛躍的な進展をみせた古墳時代からはじまります。ここでは、小松市矢田野エジリ古墳から出土した重要文化財の巫女形埴輪のほか、神まつりが行われた遺跡(祭祀遺跡)から出土した多彩な祭具を展示し、どのような「場」が神まつりの聖地となり、どのような人が神に奉仕し、何を捧げてきたのかを紹介します。

つぎに、人形などの形代かたしろを使って大規模な祓い儀礼はらひが行われた七尾市小島西遺跡や古代気多神社の祭場跡とみられている羽咋市寺家遺跡をとりあげ、律令国家の法のもとで行われた神まつり(神祇祭祀)の地方的展開を展望します。



■ 神と人との仲立ちをする巫女像 小松市蔵

## 第2章

### 神と仏のであい

自然界にさまざまな神を意識し、神をマレヒト(客人)ととらえていた倭の人びとは、海を渡ってきた光り輝く金銅仏を他国の神として受け入れました。ここでは、北陸にいち早くもたらされた仏像の代表として金沢市西光寺に伝わる秘仏を初公開します。それは、希少な飛鳥時代(7世紀後半)の銅造菩薩立像で、鳥取県大山寺に伝わる銅造観音菩薩立像(重要文化財)とそっくりな特徴を窺う興味深い資料です。

このほか、海の彼方から寄りついた漂着神と薬師如来との習合や白山などの山岳神に接近しようとした山林修行者の台頭、さらには国司神拝の記録などをもとに、当地における神仏習合の萌芽と展開について取り上げます。



■ 飛鳥時代の銅造菩薩立像 西光寺蔵

## 第3章

### あらわ 顕れた神

わが国の神々は、もともと姿や形をもたない不可視の存在と観念されてきました。神仏習合が進むにつれ、仏像と同様に神の礼拝対象がも定められるとともに、仏の前面に出ることのなかった神の失地回復という意味もあつて神像が誕生します。

ここでは、門外不出とされてきた久麻加夫都阿良加志比古神坐像(重要文化財 七尾市 久麻加夫都阿良加志比古神社蔵)が千年の時を超えて初公開されるほか、県内の代表的な神像が展覧されます。また、絵巻では白山三社神像(重要文化財 白山市 白山比咩神社蔵)を4月27日から5月17日の期間限定で公開しますので、神秘性をたたえた神の姿をご堪能ください。



■ 白山に坐す気高き女神像 白山比咩神社蔵

## 第4章

### 神々の変身 — 本地垂迹説の広まり —

神と仏の融合が進んだ平安時代後期になると、日本の神々は仏菩薩(本地)の仮の姿(垂迹)であるという「本地垂迹説」が広まり、それぞれの祭神に本地仏が定められるようになりました。

ここでは、かつて気多神社の講堂に祀られていた阿弥陀如来坐像(重要文化財 羽咋市 正覚院蔵)のほか、県内の代表的な懸仏を紹介しします。懸仏とは、神鏡に顕れた仏菩薩を表現したもので、もとは「御正体」と呼ばれました。懸仏は銅製が多いのですが、本県では古くから木製や鉄製の遺品がみられるのが特徴です。また、気多神社本殿にあった前田家寄進の日輪懸仏は、幅157cmを測る全国最大級のもので、そのスケール感を間近にご覧いただけます。



■ 前田家寄進の巨大な懸仏 正覚院蔵

## 第5章

### 神へのささげもの

神々への畏敬の念から捧げられた武器武具などの宝物や、社殿におさめる調度や什器類、法楽に供した芸能の品々、さらには祈願・報謝に際して手向けられた奉納品を鑑賞します。

なかでも林六郎光明が戦勝祈願で奉納した黒漆螺鈿鞍、兼若に次ぐ加賀の名工清蔵兼巻の大太刀、金沢城内にあった東照宮拜殿を荘厳した華やかな三十六歌仙額は魅力あふれる逸品と言えます。

## 学芸員コラム Column

### 学校の博物館利用における新たな取り組み

アクティブ・ラーニングを取り入れた博物館学習の今後

普及課長 永井 浩

アクティブラーニングという言葉をご存知でしょうか。児童・生徒が授業を受けるのではなく、授業に主体的に参加する学習方法のことです。具体的には教師による一方的な指導ではなく、児童・生徒による体験学習や教室でのグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワークを中心とする授業のことを指します。学校現場ではよく聞かれる言葉ですが、それ以外の方にとってはあまり馴染みのない言葉かもしれません。一見博物館とは縁がない言葉のように思えますが、近年、子どもたちに「主体的・対話的な深い学び」のスキルを身に付けさせるため、いくつかの博物館でアクティブ・ラーニング(主体的・対話的で深い学び)の手法を導入しているところがあります。そこで、今回はアクティブ・ラーニングの手法を取り入れた博物館学習の今後について述べたいと思います。



▲展示資料を活用した探求学習

ところが、次期学習指導要領では、知識だけに偏らず、「学ぶこと」と「社会とのつながりを意識した学習」を取り入れること、つまり、単に基礎的な知識・技能を習得するだけでなく、社会全体の中で学んだことを活用していくことが大切だとしています。また、その関わりの中で、自分自身の課題を見つけだし、その課題解決に向けて、主体的・協働的に探求し、学んだことを地域で実践していくことが重要だとしています。そしてこれらの資質・能力を育成するための学び方として、「課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習」である「アクティブ・ラーニング」の導入が求められています。「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」を重視しているのです。一方、博物館側から見れば、「学ぶ」場であり、同時に「社会とのつながりを意識した教育」の場でもある博物館で、アクティブ・ラーニングの手法を導入することは、今後、学校側に新たな博物館利用の在り方を提示するよい機会となるはずだと。

では、博物館のどのような点がアクティブ・ラーニングに適しているのでしょうか。博物館は、教室を離れ、限られた時間内で多種多様な情報源から、主体的に課題解決のための資料を選定して、自力解決を図ることができる教育施設です。学芸員と博物館資料という人的・物的資源が子どもたちの学習活動をサポートします。全員に共通する学習課題を示し、博物館という限られた空間の中で展示資料を介して調査活動を行う学習は、まさに子どものアクティブラーニングの学習力を訓練する場として最適です。また、博物館での学びは、子どもが生涯にわたる学習力を身に付けるうえでも大切な学びの機会になるはずだと。最後に、今後は、単なる見学の間としてだけでなく、アクティブ・ラーニングの学びと場として博物館を再活用していただければ幸いです。



▲学芸員による児童生徒への学習支援

平成10年の学習指導要領改訂で導入された「総合的な学習の時間」では、学校側が児童生徒の体験活動の場を学校以外に求め、博物館の利用が促進されました。しかし、児童生徒の学力低下が問題視され、学校における校外学習活動が大幅に縮小されることになりました。そのため、「総合的な学習の時間」を利用した博物館活用は大きく後退し、従来の「遠足」型の見学のみという質的低下を招くことになりました。



## 教育プログラム

Educational Program

楽しく学べる企画をご用意しています!

### 金沢ならではの「金花糖」の色付け体験

当館では展覧会に関連した企画を毎回開催していますが、その他にも季節ごとに合わせたイベントも開催しています。今回は、その中でも冬から春を象徴する「金花糖の色付け体験」についてご紹介します。

金花糖とは砂糖を型にはめて、動物や植物の形に成型して着色したもので、おもにお正月や桃の節句を祝うのに使われます。この金花糖の色付け体験は当館では珍しく「食べもの」を扱うイベントであり、数年前から桃の節句に合わせて開催しています。当館ではこのイベントが恒例となってきた印象があり、毎年定員を大幅に超える応募があります。開催時期が少し早まった今年も幅広い世代から多数の応募者があり、中には県外からの応募や外国人の応募もありました。

さて、当日は色付けに入る前に、講師である越山甘清堂の徳山康彦社長から金花糖の歴史や色付けの手順の説明がありました。その後作業に入ると会場の中にも一気に緊張感が出てきます。色付けは塗り直しがきかず、そして力を入れすぎると割れてしまうため、皆さん真剣に、そして少しずつ丁寧に色付けを進めていきました。こうして1つ目の「鯛」が完成し、鱗のグラデーションが美しい作品が会場のいたるところで見られました。続いての金花糖は「桃」ですが、こちらでは異

なる色どうしのグラデーションがありました。しかし2つ目にもなると皆さん慣れた様子で色付けをしていき、赤・黄・緑と華やかに彩られた作品が完成しました。完成した作品は専用の箱に入れられ、皆さん大切に持ち帰られました。

今回ご紹介した金花糖は江戸時代から続く伝統的なものですが、講師の方によると年々その数は少なくなってきているようです。そうした中で博物館という場所も、こうした文化などを展示するだけでなく実際に触れてみる場所としての役割も求められているのかもしれませんが、今回の金花糖の体験イベントも、参加できる人数はわずかではありますが、地域に残る伝統文化を知っていただくきっかけの一つになればと思います。

(学芸員 野村 将之)



黙々と作業中...



完成した作品たち!

## 催し物案内

Information

展示解説や各種講座などの情報をお知らせします。(各種催し物の詳細については、当館ホームページにてお知らせします。)

### 5月

16日(木) 第1回 古文書講座(前期)  
越中放生津 綿屋彦九郎の廻船事業を読もう  
講師: 濱岡 伸也  
(学芸主幹兼資料課長)

24日(金) 学芸員によるワンポイント解説  
青柏祭と人形見  
講師: 大井 理恵(学芸主任)

### 6月

休館日  
6/3(月)・6/4(火)

15日(土) れきはくゼミナール  
魔法の「お金」  
—江戸時代の米—  
講師: 濱岡 伸也  
(学芸主幹兼資料課長)

20日(木) 第2回 古文書講座(前期)  
越中放生津 綿屋彦九郎の廻船事業を読もう  
講師: 濱岡 伸也  
(学芸主幹兼資料課長)

21日(金) 学芸員によるワンポイント解説  
渤海使と古代の湊  
講師: 三浦 俊明(学芸主査)

### 学芸員によるワンポイント解説 全11回

要観覧料/申込不要 時間 13:30~14:00 場所 展示室  
毎月1回、金曜日に実施している展示解説。当館の学芸員が博物館のみどころを紹介します。

### れきはくゼミナール 全11回

受講無料/申込不要 時間 13:30~15:00 場所 ワークショップルーム  
毎月1回、土曜日に実施している博物館講座。当館の学芸員が独自のテーマを設定し講義します。(3月は月2回)

### 古文書講座 前期5回・後期2回

受講無料/要申込 時間 13:30~15:00 場所 ワークショップルーム  
当館の学芸員が古文書の読み方や内容を解説します。

### いしかわ県民大学校歴史講座 全10回

要受講料/要申込 時間 11月~1月の水曜日 13:30~15:30